

作文・川柳を募集します

I 作文 テーマ：わたしがごみを減らす理由
たとえば

なぜ あなたはごみを減らそう!!って思うのですか?

なぜ あなたはごみを減らそうよ!!って身近な人に声をかけるのですか?

なぜ あなたはごみを減らす努力をしているのですか? など

自分に問い合わせた「ごみを減らす理由」を作文にしてください。

II ごみ川柳 ふと思った「ごみ」のあれこれを、五七五にとらわれず短文にしてください
たとえば

作文書いて考える 私がごみをへらすワケ

落としても 割れないびんがほしいなあ

お買い物にはマイバッグ マイバックはわたしの背中

☆I,II 共通

●対 象 多摩地域^{※1}在住 在勤 在学(小学1年生以上)の方

※1 多摩地域とは、東京都のうち、23区と島嶼部を除いた市町村部を指します。

●しめきり 2023年2月15日(水)必着

●賞の種類

- ・優秀賞 各1名または2名
- ・エコにこセンター長賞 各1名または2名
- ・佳作 各数名
- ・応募者全員に参加賞をお送りします。

受賞者発表は、3月4日(土)開催の第30回TAMAとことん討論会^{※2}で行います。

※2 第30回TAMAとことん討論会

主催:第30回TAMAとことん討論会実行委員会

会場:京王聖蹟桜ヶ丘駅SCアウラホール(ハイブリッド開催を予定)

今回のテーマ:ごみ問題は自分ごと ~多摩地域の取組みから考える~

●応募方法

・郵送の場合

206-0035 多摩市唐木田2-1-1 エコにこセンター 作文川柳係

・メール送信の場合 (ただし高校生以上に限る) tama.recycle@gmail.com

☆応募規定は裏面のとおり

●問合せ できるだけメールでお願いします。

tama.recycle@gmail.com

電話 042-374-6210 エコにこセンター (10時~17時、月曜日・年末年始休館)

ご応募をお待ちしています！



応募規定

- (1)自作の未発表作品に限ります。二重応募（類似作品を含む）はお断りします。応募作品について著作権侵害などの争いが生じても、主催者および共催者はいっさい責任を負いません。
- (2)応募作品は1人作文1点 川柳3点以内
1人で作文、川柳両方に応募することもできます。
- (3)用紙の規定はありませんが、必ず作品の始めに下記の項目を書いてください。記載がない場合は無効となります。

作文・川柳共通

- ①名前 ②年齢 ③所属等(学校名学年、会社名、無職など) ④自宅住所
- ⑤電話番号(小学生は保護者の電話番号)
- ⑥郵送の場合はメールアドレス(小学生は保護者のメールアドレス)

記載いただいた個人情報は、応募者への連絡、受賞者名発表のみに使用し、それ以外の目的での使用や第三者に譲渡することはありません。

- (4)作品は次の事項に注意して作成してください。

・中学生以下の方

応募する児童・生徒の自筆に限ります。濃くはっきり書いてください。
川柳はハガキを使用してもかまいません。

・高校生以上の方

筆記具使用の場合は濃くはっきり書いてください。
メール送信の場合は、必ず件名を「作文応募」または「川柳応募」とし、できるだけ添付ファイル(マイクロソフト社ワード形式)でお送りください。メール本文に作品を書いて応募することも可能です。

※作文の題名は、(3)の項目といっしょに作品の始めに書いてください。(無題でもかまいません)

- (5)絵・写真などを使用した作品は認めません。

- (6)応募作品は返却しませんので、必要な場合は事前にコピーをとり、保管してください。

- (7)応募作品の著作権は主催者および共催者に帰属します。受賞作品及び受賞者名は、主催者および共催者発行の印刷物、ホームページ等で紹介する場合があります。
川柳はエコにこセンターに「エコモットー」として発表する場合があります。

主催者の紹介

第30回TAMAとことん討論会実行委員会

市民・事業者・行政が連携して多摩地域のごみ問題の解決に向けた情報交換や意見交換を行うTAMAとことん討論会を主催しています。実行委員会の構成は、特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦と公益財団法人東京市町村自治調査会です。今年度で30回目の開催となります。

東京・多摩リサイクル市民連邦 <http://www.renpou.org/>
東京市町村自治調査会 <https://www.tama-100.or.jp/>

共催者の紹介

エコにこセンター

正式名称は多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンターでエコにこセンターは愛称です。多摩ニュータウン環境組合は八王子市・町田市・多摩市の3市で構成する一部事務組合で多摩清掃工場の運転管理を行っています。
エコにこセンターは多摩清掃工場に併設された啓発施設で、東京・多摩リサイクル市民連邦が運営業務を受託しています。

エコにこセンター https://www.tama-seisokojo.or.jp/center_top

問合せはこちら



リサイクル適性 A

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます